

令和6年度第1回学校運営協議会 議事録

❖日時 令和6年5月14日(火) 14:30～16:30

❖場所 湖南高等学校 図書館

❖参加者 提示

委員(敬称略・順不同)

佐藤 宗良、石田 慶仁、和田 祐樹、渡部 智子、大内 紀男、薄 良枝、山口 正国
矢島 敦、佐藤 忠男、本田 康浩、野口 智行
(欠席: 桑名 秀一郎)

事務局

菊池由喜男、会田 房男、森 修、佐藤 修一、久住 貴紀、渡部実和子、五十嵐 稜

❖内容

- 1 開会のことば 菊池教頭
- 2 辞令交付
- 3 校長あいさつ

今年度は、4名の方々が退任され、4名の方々に加わっていただきました。よろしくお願いたします。前会長の小山さんは体調を崩されているとのことで御退任され、これまでの御厚情に御礼申し上げます。

さて、改めて加わっていただいた方もおられますので、コミュニティ・スクールについて少し説明をさせていただきます。資料の16頁を御覧ください。通常ですと学校運営は校長が進めますが、コミュニティ・スクールである本校は委員の皆様からの意見を踏まえ共に進めていきますので、忌憚のない御意見をいただければと思います。

今年度の様子については、昨年度まで入学者は定員の半分に満たない年が2年続いていましたが、今年度は25名が入学し、総勢60名でスタートしました。さらに活発な学校運営を進められるよう期待しているところです。今年度の入試でも、受験生は本校の取組みを理解し、受験していたようです。湖南高校からの情報発信が中学生のもとへも広がり、届いているのを実感しました。

昨年度のアナケート結果から、基礎学力向上が課題として挙がっており、課題解決に向け、今年度新たに始めた事業がありますので後ほど御紹介させていただきます。

各種行事については、今年度、新たに増やすわけではなく、現在の取組みを更に深めていきたいと考えております。生徒も少ないため負担にならないよう、内容を精選精査していく必要があります。そのためには委員の皆様からの御意見が重要です。昨年度の雪灯籠祭りは、委員の皆様にも御意見をいただき、無事開催することができました。昨年度の形を引継ぎながら、高校生が中心となって更に良いものを作り上げていけたらと考えています。今後も「地域創生に関わる日本一の学校」を目標に取組んで参りますので、御協力をお願いします。

4 出席者自己紹介

5 会長、副会長互選（任期2年）

会 長 佐藤 宗良氏

副会長 薄 良枝氏

6 会長、副会長あいさつ

会 長：地区の文化祭など様々な行事を運営する上で、地域の方々は皆高齢になり、重いものを運ぶ際などに困っていた。そこへの高校生の参入はとてありがたい。今後も人と人とのふれあい、対面での関わりを持てる場を作って、充実した高校生活を送ってほしい。

副会長：2年生がお祭りに関わる予定であるとの話を聞いている。各地のお祭りの開催が危うくなってきている中、高校生の参入はとて心強い。

7 報告事項

(1) 令和6年度スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて 校長より・4頁参照
昨年度、スクール・ポリシーを作成し承認いただいた内容となっております。

就職から進学まで幅広く対応できる学校を目指して作成したものであり、次の学校経営・運営ビジョンの作成となっております。

(2) 令和6年度学校経営・運営ビジョンについて 校長より・・・・・・・・・・5頁参照
基礎学力の定着と向上 → 国数英習熟度別で実施。

フォローアップ学習会 → 義務教育段階の学習の定着を目指し対応していたが、平日の短期間だったため、今年度はやり方を変更し「夕暮れ!! 湖南塾」という名称で、火・水・金に年間通しての実施を計画し、取組みを始めた。基礎力診断テストでD3のついた生徒を対象にバスの出発時間までの間（約30分）を活用して実施。現状、子どもたちは集中して取り組んでいる。基礎的な内容から始めているが、生徒同士で教えあう姿もみられる。今後、学習の様子などを御覧いただく機会を作りたい。

(3) 令和6年度各部の努力目標について 校長より・・・・・・・・・・6～11頁参照
※ 資料を基に説明。

(4) ルーブリック（KDGs）について 校長より・・・・・・・・・・12頁参照
3つの柱に4つの「身に付けてもらいたい資質能力」を入れ、C～Sで評価。できるだけわかりやすい言葉で作成。お飾りではなく、常に活用する。各行事ごとに評価し、反省も端末を活用し、個別に情報を積み重ね統計化し、今後活用していきたい。

ルーブリックの使い方について委員から御意見があればいただきたい。

→会長：Wi-Fi 施設はじめ、環境を整えることが大切。

→和田：ルーブリックは生徒たちがどのように成長しているかを計る指標。すべてSだからいいのではなく、Cから徐々に上がっていく自己評価にもなる。湖南高校のルーブリックはとてよくできている。実際に活用したり、授業に落とし込めたりでき

ている学校は少ない。ただ、社会の流れは速いので、これが完成ではなく、社会の情勢に合わせて変化を加えていくとよい。社会の情勢も鑑みることで、地域創生に関わる日本一の学校に近づくのではないかと思う。

→ 薄：夕暮れ!! 湖南塾について、とても素敵なお組だと感じた。

- (5) 事務部からの報告について 事務長より・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13頁参照
※ 資料を基に説明。
- (6) 令和5年度学校評価アンケート結果について(別冊) 教頭より・・・・別冊1頁参照
※ 資料を基に説明。
- (7) 令和5年度学校運営協議会活動報告(別冊)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別冊4頁参照

8 協議事項

- (1) 令和6年度学校運営協議会活動計画 教頭より・・・・・・ 15頁及び年間行事計画参照
・ 雪灯籠の日程等の詳細は決まり次第お知らせ。
・ 9月13日(金) 面接指導予定。委員の皆様の協力をお願いします。

(2) 学校の魅力化のための意見交換

教頭 昨年、和田さんから、学校パンフレットのリニューアルについて提言いただき、今年度新しいものを作成したので御覧ください。このように、皆様からの御意見をいただき、学校の魅力化を発信していけるように進めてまいりますので、御意見をいただければと思います。

和田 アンケート結果について、色々な数値が伸びている中で気になったのが、進路実現100%を目指す取組みの反面、「進路指導が個別に寄り添ったものだったかどうか」という質問に対する評価が低かったのには何か理由があるのか。

教頭 昨年一年通して、生徒の方の実態として進路に対する動きが遅いという印象を感じた。切羽詰まって急いで動いたことが原因ではないかと考えられる。それを受け、今年度は進路合同説明会をPTA総会の日に変更し、昨年度より早い時期に開催し、家庭でも話題に挙がるようにした。「夕暮れ湖南塾」も進路へ向けての意識を変える上での契機としたい。

(その他) → アンケートの内容について、もう少し解りやすい内容に修正したいと考えている。

和田 アンケートの結果で、湖南高校だより等の配付物を保護者に渡している割合が低いのはなぜか。

森 生徒の鞆の底に沈んでいる可能性が高い。

和田 新入生の様子として、物の管理が難しい生徒も多いのか。

森 課題の見られる生徒もいる。保護者に繋ぐためにICTの活用も考えられる。

教頭 湖南高校だよりはHPにも掲載しているので、アップしたらメール等で知らせる手もある。また、昨年度、市内の中学校より湖南高校だよりが欲しいという声をいただき、今年度から市内の中学校にも配付する予定である。

(3) 学校評議員からの提言

なし。

(4) その他

会長 年間行事計画を見ると、先生方が大変ではないかと想像できる。

働き方改革についてどのように取り組む予定なのか。

校長 月80時間を超える超勤勤務を必ず「0」にしようとしている。さらには45時間が目安になっているので、そこを超えないように取り組みたい。そのため、部活動指導員にバックアップしていただきながら取り組んでいる。他の学校に比べると45時間を超える先生は少ないが、先生方もリフレッシュが必要。夏場は19時にカギを閉めるということを4月の職員会議で周知している。また、19時を超える場合は書類を提出するようになっている。

教頭 昨年度までは校務分掌において部活動の顧問を第1、第2…と定めていたが、全員が第1顧問としてローテーションし、負担が分担できるようにしている。

会長 地域でできるものに関しては区長会のほうでもバックアップしたい。環境美化や除草など、何かあれば声をかけていただきたい。

石田 今年度の湖岸清掃はいつの予定なのか。

教頭 今年度も湖南小中学校生とともに9月2日(月)に実施を計画。

9 その他

会長 今後の協議会は1時間で収めるように進めたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

10 閉会のことば

※ 諸連絡

次回、第2回の開催予定日は7月12日(金)ビブリオバトルの参観を予定。

(16:10終了)